

「第1回九州SGHフォーラム」を開催しました！

7月9日（月）長崎ブリックホールにて「九州SGHフォーラム」を開催しました。九州内のSGH指定校14校のうち11校の生徒と先生方50名が参加し、課題研究の成果を発表しました。文部科学省からはSGH事業チーフの矢田係長様と廣瀬先生、SGH幹事校の筑波大学からは2名の先生がお見えになりました。長崎大学からは片峰前学長（長崎大学名誉教授）、地域教育総合支援センター副センター長の池田教授、SGH運営指導委員で国際リエゾン教育機構長特別補佐の山下先生、宮崎公立大学からはSGH英語論文指導にご協力いただいている麻生教授にお越しいただきました。県内の高校の先生や保護者の皆様など70名の来客をお迎えし、約600名が参加する大規模なフォーラムとなりました。

片峰先生からは「変容の時代に求められる資質」をテーマに基調講演をいただき、グローバルな視点で地域の課題に向き合い、地域の課題の中に地球規模課題解決の糸口を探ることが真の地方創生であることをご教示いただきました。

7校による英語のプレゼンテーション、3校による英語のポスター発表、本校国際科3年生による英語のサブ発表が行われました。また、GSⅢで執筆した全17班の英語論文を展示し、多くの来客の注目を集めました。4校の代表生徒が登壇したパネルディスカッションでは本校のSGH運営指導委員を初年度から務めていただいている山口大学の陳内先生の進行で「SGHで身につく力と将来への展望」をテーマに、多様な意見を会場と共有することができました。

【審査結果】

	プレゼンテーション部門	ポスター発表部門
最優秀賞	京都	長崎東
優秀賞	鞍手 福岡雙葉 長崎東	佐賀農業
奨励賞	大分上野丘 五ヶ瀬 甲南	水保



前日の生徒交流会

学校の様子や課題研究など会話が弾みました。皿うどんも好評でした。



最優秀賞を獲得したポスター発表
「難民と作る社会」



長崎東高校国際科3年生の4班がサブ発表として英語によるプレゼンテーションとポスター発表を行いました。



福岡雙葉、済々黌、甲南、長崎東の生徒が登壇したパネルディスカッション



7校によるプレゼンテーションと3校によるポスター発表の表彰